

## 公共交通の充実について

**Q** 自動運転バスなど、境二中学区の公共交通の充実について、当町の考えを伺いたい。

**A** 町長就任以降、「誰もが生活の足に困らない町」を目指し、全国初となる町中心部での自動運転バスの運行や、東京駅や成田空港行きの高速バスの運行が実現。境二中学区については、現状、「交通空白地域」となっており、高齢者や子育て世代による塾や部活動の送り迎え等の移動の課題を解決すべく、今年度、国交省「共創モデル実証プロジェクト」に採択となりました。現在、ワゴン車を3台活用したオンデマンド車両を導入し、病院の送迎や、部活の送迎など、きめ細やかな公共交通事業を実施する予定です。

(企画部長)

## 境町モデルと収入増加策について

**Q** 町長就任後の境町モデルの収入並びにふるさと納税、企業版ふるさと納税等の各寄付額および獲得した補助金の総額について、実績を伺いたい。

**A** 橋本町長就任時の平成25年度の境町の財政状況については、将来負担比率や実質公債費比率は北関東104市町村中ワースト1位であり、当時の財政シミュレーションでは、5年後には基金が底をつき、町の財政は破綻するという危機的な状況でした。現在の境町モデルを始めとした取組み等により、財政健全化が進み、将来負担比率もワースト1位から脱却。現在、境町モデルでの投資効果により、令和4年度決算額は9千万円の収入、町長就任以降のふるさと納税の総額は285億円、企業版ふるさと納税の総額は20億円、地方創生拠点整備交付金等の主な獲得した補助金の総額は93億円と大きな収入増となっております。

(企画部長)

## 議席3番

枝 史子 議員



## 学校図書館の充実について

**Q** 学校図書館支援員の勤務状況と配置について

**A** 当町では、学校図書館の日常の運営管理や、学校図書館を活用した教育活動の支援をおこなう職員として、3名の「学校図書館支援員」を任命しております。そして、それぞれが2〜3校を兼務し、町内全7小中学校に週1〜3日の割合で勤務しております。文部科学省第6次学校図書館図書整備等5か年計画では、学校図書館支援員の各校1名の配置を目指す目標が示されていることから、当町もその体制づくりに努めてまいります。

(教育次長)

**Q** 図書購入費について

**A** 図書購入費につきましては、毎年各小学校に25万円、各中学校には35万円を計上しております。さらに、JRAより1校10万円、年間70万円のご寄附をいただいております、こちらも合わせて活用しております。

文部科学省が定める基準から見ますと、当町小学校の蔵書数は満たされているものの、中学校については達していない状況なので、継続的な図書購入費予算を確保するとともに、標準冊数に近づぐように努めてまいります。

町としては、読書の重要性を認識しており、予算増額も可能ですので、学校図書館支援員さんからの要望等をまとめ、伝えていただきたいと考えております。

(町長・教育次長)

